

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 平均農地面積0.8ha、1ha未満の農家が7割を占める零細な生産構造の山間農業地域で、農作業が非効率となっている。
- 農家の高齢化と後継者不足により遊休農地が増加傾向にあり、農地の荒廃防止と地域農業の維持に向けて、担い手の育成と農地の集積・集約が課題。

【支援内容・背景】

- 農地の荒廃防止と将来に渡って地域農業を維持していくため、離農者等の農地の中心的な受け皿として、生産体制の強化を図る必要。
- 助成対象者は水稻を中心にそば、トマト、きのこ等を生産する地区内で唯一の農業法人であり、地域農業のリーダーとして離農者等の農地の引受や農作業受託に取り組む。地域農業を牽引する中核的経営体として支援。



助成対象者「(有)伊南の郷」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成17年 第三セクターとして地区の農家16人と有限会社設立
- 平成18年 経営改善計画の認定
- 平成31年 JGAP認証(米(玄米))
- 令和4年 ふくしま県GAP認証(そば)

《事業活用の背景》

○ 地区内の農地の引受や作業受委託のニーズの高まりに対応し、水稻の生産体制の強化を図るため、作業の効率化、省力化が必要。水稻の収穫作業の効率化、省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】 〈R2年度〉

- 売上高 62百万円
(水田活用の直接支払交付金含む。)
- 経営面積 43.7ha

《事業による整備内容》
○コンバイン 6条 1台
事業費 10,824千円
(うち国費 3,280千円)



【現在の経営状況】 〈R5年度〉

- 売上高 71百万円 **(115%)**
(水田活用の直接支払交付金含む。)
- 経営面積 55.6ha **(127%)**

事業の 効果

《対象者》 地域内の水稻の収穫作業効率が向上し、経営面積の拡大が実現。

《地区》 水稻の生産体制の強化が図られたことにより、地域の農地の集積・集約が進み、生産性向上と農地の荒廃防止等に貢献。